

京都府日本共産党後援会・第3回

「おもしろくて役に立つ講座」

# 「京都の文化財修復にたずさわって」



東寺東大門

講師 菅澤茂さんはこんな人

工学院大学客員研究員・元京都府教育委員会文化財保護課専門幹



西本願寺



丸太町新町角 日赤病院の南側

文化財保護で最も重要なのは職人の確保です。職人の雇用・賃金を守ることが日本の伝統建築・文化財を守ることに繋がります。しかし、今の日本の職人は、雇用が不安定で、収入も見通せず、後継者が途絶えようとしています。日本の文化財行政を大きく見直すべき時です。

国が本気になって京都の文化財、町並みを守ることに取り組めば、たくさんの仕事生まれ、地域は活性化します。

国宝重要文化財建造物は約5000棟あり、それ以外の国登録有形文化財・約11500件（棟）、伝統的建造物保存地区・115地区の民家町屋は数千棟になるとが想定できます。（2016年7月京都民報より）

日時 9月28日(土)午後1時30分・党府委員会5階